

共生・協働の 地域社会づくり

NPO法人森の学校楠学園
TEL 0995 (52) 0385

さまざまな体験活動を通じて学び、生きる力を育む

NPO法人森の学校楠学園は、始良市蒲生町で、フリースクールの運営や青少年の健全育成に関する活動を行っています。代表の藤浦清香さんは小学校の元教員です。学校ではなかなか取り組めない、体験や観察に力点を置いた、知的好奇心を成長につなげる総合的な学習の場として、5年前に森の学校楠学園を開設しました。現在は、学園の趣旨に賛同する児童生徒が在籍し、異年齢の集団でさまざまな体験学習に取り組んでいます。

例えば、釣りをきっかけに、川や海の観察、潮の流れの見方、魚の生態、天気の見方、危険予知などを学ぶことができます。また、外国人が講師を務める授業では、異文化への理解を深めるために、その講師と日常生活を共に送ることでコミュニケーション能力を高めたり、それぞれの国の地理や歴史を興味を持って学ぶことができます。

平成25年度に取り組んでいる演劇では、劇場でプロの音楽家や演奏家と共演することが決まっております。日々練習を重ねています。森の教室づくりプロジェクトでは、間伐材を自然乾燥させ、製材して、小屋を建設する予定であり、地域の方



森の中での野鳥の観察会

や、一般のボランティアの方にも協力してもらい、小屋を造る過程を一緒に学んでいます。また、未就学児を対象にした「森のようちえんつくしんぼ」を開園しており、楠学園と同様、自然体験型の保育を行っています。楠学園の敷地内の森には、モンゴルの遊牧民の住居であるゲルを建設し、園舎として利用しています。園児は、ここで、絵本を読んだり、工作をしたりと思いに過ぎしています。

学園でさまざまな活動に取り組む子どもたちの姿は、生き生きとしており、伸び伸びとした学園生活を送っていることがうかがえます。

さらに、始良市と連携し学園近くの市有林内に、手作りの遊具などを設置して「ふれあいの森冒険遊び場かむおん」を開設し、管理しています。子どもたちは、山の中で創意工夫を凝らしながら遊びを通してさまざまな発見をしています。

学園がある新留地区は、過疎化と高齢化が進んでおり、休校している新留小学校の今後の活用について「地域が元気になるような活動を行っているところを利用してほしい」と考えていたそうです。そこで楠学園に声がかかり、両者の



ゲルの前で昼食を取る園児たち

思いが一致したことからこの地域での活動を決めたとのことです。

活動当初は、「フリースクールって何だろう」と不安な様子もあつたようですが、地域の方と顔を合わせ、触れ合いを重ねる中で、お互いの信頼関係が築かれていったようです。

学園では、地域の方々と協力し合って、小学校で運動会を開催したり、月見会や餅つきなど季節の行事を行っています。また、学園の子どもたちも敬老会などに参加し、地域の方々と積極的に交流しています。

このように、森の学校楠学園は、地域に根付きいろいろな方々や団体と協働した取り組みを展開し、活動の輪を広げています。



冒険遊び場かむおん

代表者からひとこと



ふじうら さやか
代表の藤浦 清香さん

子どもに限らず、いろいろな人が自分の感性を信じて主体的に生きていく社会、生き生きと暮らせる社会をめざしています。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。